



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 11. 9

No. 24

## 3校が集っての「わくわく交流会」

11月1日(木)、町内3校の5・6年生がリリオスに集って、「わくわく交流会」が行われました。この事業は昨年から行われたもので、それまで行われてきた「陸上交流会」の内容を変えて、子ども達の交流を目的とした事業にしたものです。

美郷町の小学校はいずれも規模が大きく、各学年50名前後の人数を抱えています。そのために、小学校間の交流がなかなか出来ないのが現状です。他の中学校区を見ると、いろいろな機会に交流したり、場合によっては修学旅行を合同で行っていたりしている地区もあります。しかし、それも人数が少ないことが前提となります。そういった点では、美郷中学校に進学する3校の子ども達の交流が少ないという点は課題となっています。また、美郷中学校で生徒に、「中学校入学で一番不安だったこと」を聞いてみると、大半の生徒が「友達ができるだろうか」ということでした。そういった課題を克服するために、校長会と教育委員会で話し合っ、「交流を目的とした事業」に改善したわけです。



今回も花丸学習会から「ライガーこと新井さん」に来ていただいて、楽しいゲームをたくさん行いました。最初はグループごとに自己紹介をしました。特に5年生は初めて出会うため、最初はやや緊張した雰囲気があり、それをほぐす意味でも自己紹介は大切です。事前に作っておいた名刺を交換したり、好きな食べ物や好きな芸能人を言い合ったりして、次第にお互いのことが分かってきました。中には、円陣を組んで、気合いを入れているグループもありました。子ども達はすぐに友達になれます。こういった少しのふれ合いで、お互いの距離が縮まった気がしました。



最初のゲームは、お互いの名前を覚えるためのゲームです。最初の人は、「ボクの名前はAです。」と言い、隣の人は、「ボクはA君の隣のBです。」と言います。次の人は、「A君の隣のB君の隣のCです。」というように言います。そうやって最後の人まで、できるだけ早く言えたグループが勝ちです。また、体で人文字を作るゲームも盛り上がりました。グループ全員で床に寝転んで、例えば「ミサト」という文字を全員の体を使って作ります。当然のように体のふれ合いがあるのですが、それがまた子ども達の心の距離を縮めることにつながります。

昨年の感想にもありましたが、この交流会を経験することで、子ども達の進学の不安はかなり解消されるようです。「他校の友達ができただので、中学校へ入学するのも心配がなくなりました。」と感想を述べた子もいます。この取組がこんなにも効果を上げたことに驚いています。

( ) わたしがわくわく交流会で楽しかったことは、自こしょうかいです。理由は、みんなの好きな食べ物を聞いたりして、みんなのことを知れて楽しかったです。次は、みんなで文字を作るときに協力し合い「もうちょっとこち」や「前に進んだ方がいいな」と話し合っでとんどん仲が深まりました。最後は友達ができたことです。わたしは人見知りなので、人とうまく話せなかつたりします。けれど、あの場所ですぐ友達ができて、わたし自身もビックリしました。この交流会のおかげで、中学校に入って友達ができる自信がついてきました。

( ) わたしがわくわく交流会で心に残ったことは、人文字を作るゲームです。理由は、初めて会った人達と考えを出し合っで、協力して人文字を作ることができたからです。また、他のゲームでもやったことのないゲームが多かつたので、楽しく参加でき仲良くなることができました。今回はリーダーで積極的に声をかけられるか不安でしたが、明るい人がたくさんいたので安心できました。来年もう一回あるので、名前を覚えて少しでも仲良くして、思い出を作りたいです。もし中学校で会つたら声をかけていきたいです。

## わくわく園の子ども達を招待して

1年生が、わくわく園の年長さんをお店屋さんへ招待しました。生活科の学習の「あきとあそぼう」の単元で作つたおもちゃを準備して、わくわく園の子ども達に遊んでもらいました。



1年生の子ども達は、六郷小学校では一番下の学年で、上の学年の人たちからいつもかわいがられています。1年生も上の学年のお兄さんお姉さんを頼っているところがあります。しかしながら、今日だけは違います。わくわく園のかわいい弟や妹を迎えて、立派な上級生として振る舞わなければなりません。そんな気持ちを感じているのか、1年生は張り切つて準備をしてこの日を迎えました。



当日は、わくわく園の子ども達が来てくれて嬉しいのか、1年生もとても明るい表情でした。実際にお店屋さんが始まると、ていねいに説明したり、一緒になつて楽しんだり、本当にほほえましい光景がたくさん見られました。1年生といえども昨年までは年長さんとしてがんばっていた子ども達です。今日はお兄さんお姉さんとして、しっかり仕事をすることができました。来年は2年生になるのだという思いを感じたひとときでした。

## ミシンボランティア 本当に助かります。

ミシンの指導は、なかなか身につかないために、担任一人では指導が難しいです。そこで六郷小では「みさぼーと」にお願いして、毎年ミシン指導のボランティアに来ていただいています。今回も5～6名の方が三日間に渡つて来てくださり、各グループに入って個別指導を行つてくれています。本当に助かります。



**子ども達のがんばり** □ 第4回ワクアス杯 第1位 六郷ピオニーズ

□ 第60回読書感想文大曲仙北審査 (自由読書) 一席: 6年 二席: 6年 三席: 6年  
(課題読書) 三席: 2年